



かわさき

第152号

議会だより

令和5年11月1日発行
福岡県川崎町



中村 伸次
さん



藤川 義春
さん

おいしいお米がとれました



西山 一郎
さん



坂本 公時
さん

米農家さんたち(P16へ)

9月 定例会議

決算認定

議員定数2名減へ

一般質問

2

川崎町議会ホームページ

3

川崎町議会 検索

QRコードからもご覧になれます▶

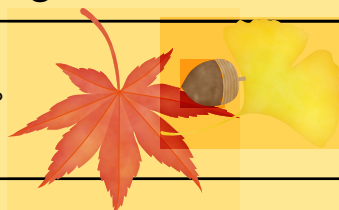
6

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き 川崎町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
【お問い合わせ】 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



令和4年度 決算認定

一般会計

歳入136億4,279万円、歳出134億9,298万円、翌年度へ繰り越すべき財源3,472万円を除き、実質収支額は1億1,508万円の黒字決算となりました。
寄付金は「かがやけ川崎応援寄付金（ふるさと納税）」の取り組みの成果により、前年より4,450万円増の6億6,114万円となりました。

庁舎等の空調設備改善の
部分に疑義あり



討 論

賛成11、反対4で
認定

<反対>

- ・単価等の積算根拠があり仕様と予定価格が定められている工事であるのにあえて公募型プロポーザル発注をしている。そのことは適正ではないのではないか。
- ・議会での説明において、電力計算や節電能力についての説明が不十分、かつ矛盾と思われる内容であった。契約と予算執行に疑義があり不認定とすべきであるとする。

<賛成>

- ・この工事は国の「地域レジリエンス（回復、復元力）自立分散型エネルギー設備等推進事業」に則って補助金が大幅に効率よく交付され、町にとって大いに利益のある取り組みである。財政の健全化に貢献できるものとして、プロポーザル発注の必要性も含めその経緯は議会でも度々詳細に報告されており適正と判断できるのではないか。
- ・この事業はCO₂の削減と災害時に公共設備の機能を維持するための設備設置事業であり、複雑で高度な技術が必要とされる。よって公募型プロポーザル発注にしたことは適正であるとする。

— 土木費 —
11億5,964万円

豊州、大峰団地の建て替え事業継続、米田養老院線など4ヶ所の道路改良など。

— 消防費 —
2億3,037万円

消防団の協力のもと火災予防運動を展開、火災出動5回、救急出動1,018回。災害時への備えや町民の生命財産を守るための事業。

— 教育費 —
6億1,714万円

学力向上を推進するため補充学習の実施、防犯ブザーの購入、GIGAスクール用品として電子黒板の購入、町民運動公園陸上競技場の照明設備の改修。

— 災害復旧費 —
1億8,726万円

農業、林業、道路橋梁、体育施設などの災害復旧事業。

— 商工費 —
5億1,563万円

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策のため「がんばろう川崎町ReBorn!商品券」交付事業、De・愛周辺広場整備など。

— 農林水産費 —
1億1,012万円

中山間地域直接支払い事業（山間地の棚田など困難な耕作に対する補助）、荒廃した森林の整備、新規就農者支援事業、鳥獣被害の防止など。

— 衛生費 —
10億9,491万円

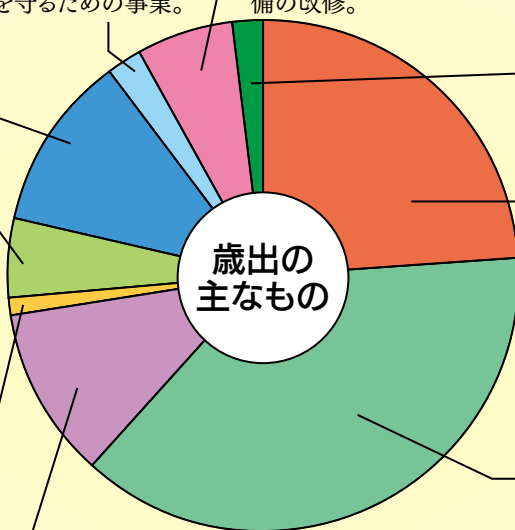
総合健康診査の無料化を実施、環境パトロールによる不法投棄監視、新型コロナウイルス接種事業など。

— 総務費 —
24億7,271万円

健幸づくりスマート運動教室の開催、結婚新生活の支援、ふれあいバス運行、庁舎等の空調設備の改善など。

— 民生費 —
38億8,089万円

子どもやお年寄り支援、障がい者の地域社会参加支援、子育て世帯生活支援特別給付金など。



特別会計

- ◆ 給食センター……………歳入1億6,332万円、歳出1億6,401万円
実質収支は69万円の赤字。
- ◆ 国保……………歳入18億4,823万円、歳出18億3,896万円
実質収支は927万円の黒字。
- ◆ 後期高齢……………歳入2億4,390万円、歳出2億3,942万円
実質収支は448万円の黒字。
(出納閉鎖期間に保険料納入が350万円程度あったことなどによる)

補正予算

●一般会計

補正額

9億2,858万円

- ◆ 道路橋梁災害復旧事業…………… 1,157万円
- ◆ 長期借入金元金償還金…………… 2億2,722万円
- ◆ 減債基金積立金…………… 5億円

●特別会計

◆ 給食センター

補正額

163万円

◆ 国保

補正額

914万円

◆ 後期高齢

補正額

△634万円

次回
改選より…



議員定数 16→14に削減

提出の趣旨

- ・ 人口減少に伴い、町民1,000人に一人という概念もあり次の選挙の折には人口が14,000人になっていると予想される
- ・ 町の財政健全化の流れを汲む、近隣の情勢、同規模の自治体の状況、その他さまざまなデータを勘案した
- ・ 区長会や町民の多くからの削減意見もあったが、まずは議員自らが身を律する

※議会機能の維持のために削減するべきでないとの意見もあった

少子化対応で幼・保を統合

町立教育・保育施設「こども園」設置関係条例を可決

川崎幼稚園は長年定員割れが続き、行政改革の観点から存続か廃止の議論がなされて来ました。

また、人口減少と少子化の進展により同和保育所利用者も減少傾向にあり、これら問題解決のため幼稚園と保育園を統合した「ひまわりこども園」をスタートさせる事になりました。施設は現同和保育所を共用し、開所は令和6年4月1日からとなります。

今後半年をかけて運営に関する様々な協議を行います。



▲ひまわりこども園に変わる同和保育所



▲閉園する町立幼稚園

●防災行政無線が新しくなります

1. 契約の概要 親局設備の更新及び改善
ホームページやSNS(LINE等)などに自動で放送文を掲載できるようになります
2. 契約金額 98,771,200円
3. 契約の相手方 株式会社 日本電子

●株式会社川崎アグリを解散します

主な理由

- ①年間収入が法人の規模として極めて少額で、株式会社形態を継続していくことは困難である。
- ②農産物特産品として開発した「アップルクーヘン・アップルバター」の製造・販売の基盤を確立し、令和4年度よりすみれアクティブセンターに移行し一定の役割を終えた。
- ③農作業受託事業は、農林振興課が実質担っており、法人解散後も農林振興課のなかで事業を継続していけるため。

●請願

採択

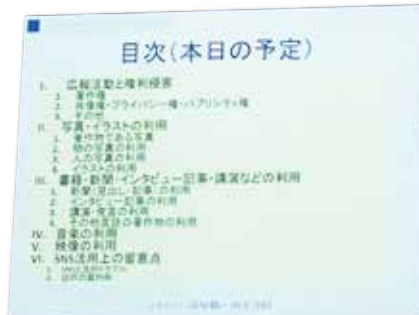
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度拡充をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について

- 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。
- 教職員定数改善を推進すること。
- 加配の削減は行わないこと。
- 義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げることを国に求めます。



広報研修に行ってきました！

写真やイラスト使用時の法律知識や読みたくなる
キャッチーな見出しの作り方など学んできました。



みなさんに読んでいただける
紙面づくりをがんばります



令和5年度 第4回川崎町議会(9月定例会議) 議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果												
			千	寺	川	中	政	山	樋	櫻	繁	松	杉	見	松
報 告	専決処分(川崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正)	条例中の文言の変更	報告のため採決はありません												
	専決処分(川崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)	条例中の文言の変更													
	令和4年度川崎町一般会計継続費清算報告書	前年度から繰り越した継続費に係る継続年度が終了したため報告するもの													
	株式会社川崎アグリ経営状況	P4を参照													
諮問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	任期満了に伴い 新たに推薦するもの	山下 美穂氏 米田 勝氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選任	監査委員の選任	任期満了に伴い新たに 高山 知弘氏を選任するもの	(適任) 簡易表決												
任命	教育委員会委員の任命	任期満了に伴い 岩丸 麗子氏を再任するもの	(適任) 簡易表決												
締結	工事請負契約の締結	P4を参照	(可決) 簡易表決												
決算 認定	令和4年度一般会計歳入歳出決算認定	P2を参照	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
	令和4年度特別会計歳入歳出決算認定(給食・国保・後期高齢)	P3を参照	(可決) 簡易表決												
条例	児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正	櫛毛児童遊園を廃止するもの	(可決) 簡易表決												
	町立就学前の子どものための教育・保育施設条例の制定	P4を参照	(可決) 簡易表決												
補正 予算	一般会計	P3を参照	(可決) 簡易表決												
	特別会計(給食・国保・後期高齢)	P3を参照	(可決) 簡易表決												
請願	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度拡充をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願	P4を参照	(採択) 簡易表決												
発意	議会会議規則の一部改正	議会会議規則に遅刻・早退についても明記するもの	(可決) 簡易表決												
	議会定数条例の改正	P3を参照	(可決) 簡易表決												

賛否表の表示は、○…賛成、●…反対、◎…欠席および退席となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

一般質問 よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。

町政を
問う!!



問「家」の朝ごはんの広報掲載を

答 健康対策ですので考えていきたい

議員

朝食を摂らない子どもが全国的に増え、児童・生徒の学業成績にも影響すると言われております。

広報紙で、家庭の朝食メニューを紹介する欄を設ける事で関心を高めてもらい、アイデアメニューや地元食材を使った料理、朝食に関する話題を募集出来るのではと考えますがいかがですか。

町長

子ども達にとって、朝ごはんをきちんと摂ることは大変貴重なもので、生活習慣を整えられる、また、健康にもいいと思っています。食進会が身体に良い料理と言う事で行っているプチ食育館などでは、メニュー的にも自慢のメニューが出て来るので

はと思っています。しかし、朝ご飯にだけ限定するとメニュー的にどうかと思いますので、そこを踏まえ、健康対策として広報紙の紙面状況を考慮しつつ、考えていきたいと思います。

議員

「早寝、早起き、朝ごはん」は幼児期から習慣づけを行う必要があります、義務教育に入ってからでは遅いと思います。子ども達の将来を思い、行政からの発信が必要ではないでしょうか。

町長

子どもの成長の為、大変貴重なものと考えています。色んなメニューを考えられる様な広報紙の紙面づくりをしていきたいと思っています。

問 健康ポイント制度の対象事業について

答 ボランティアポイントは別に考えていきたい

議員

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに活動している団体が多いと認識しています。町主催のイベントへの参加は、ポイントが付与されるのですが、ボランティアサークル主催の申込みが可能かどうかお尋ねします。

町長

健康ポイントの付与は、町は積極的に行っていますが、他の市町村では、ボランティアポイントという名称で別に設けているのではと思います。

様々な形でボランティアを行っている方が居られますので、考えていきたいと思っています。



問 高齢者や障がいでごみ出しが困難な世帯の対策は

答 全体的な取り組みで対応していく



かわね せつお
川根 節生 議員

議員 高齢になり障がいがある方などはごみを出すのも苦労します。自宅のごみを集積所まで運ぶのが難しい世帯をサポートするため家庭まで出向いて回収を行う支援制度のある自治体は全体で23%に留まっています。高齢化は年々進んでいて高齢者や障がいのある方のごみ出しは大変だと言えます。ごみ出し支援制度の導入を検討して頂きたい。

町長 社会状況からしてごみの量がすごく多くなっているのは認識しています。現在、本町では独居の高齢者、障がいのある方やごみステーションが遠い方、またごみ出しが非常に困難という方については住宅環境課のほうに申し出て審査し状況を確認したうえで職員が対応している状況です。

地域の問題についてはボランティア活動や近隣の友人、コミュニティ活動が必要になり公助、共助も含め全体的な取り組みで対応して行こうと考えています。



問 自転車のヘルメットの購入補助制度を

答 利用者の皆さんの要望があれば考えたい

議員 道路交通法の一部改正により2023年4月1日から自転車乗車時にヘルメットの着用が全年齢で努力義務となりました。自転車事故による負傷者の割合が高い7歳以上18歳以下の児童生徒や自転車事故による死亡の割合が高い65歳以上の高齢者がヘルメットを購入する場合、その費用の一部を補助する制度を実施して頂きたい。

町長 中学校が統合され条件付きですが遠方通学者が自転車通学に必要な自転車購入時に自転車とヘルメットを購入する場合、1万円の補助をしています。自転車を利用する高齢の方がヘルメットの購入が厳しいということを前提に利用者から町に要望があれば考えたいと思います。

問 指定緊急避難所の環境整備改善を

答 避難者のプライバシーを守るため努力する

議員 避難所は一人ひとりのスペースが限られているため完全なプライベート空間を確保するのは難しく、人の目線が気になる、照明が明るい、話し声気になるなどの声もあります。ストレスを少しでも和らげる空間作りを、特に人の目が気になるなどの解消の為パーテーション等の設置など環境整備改善は出来ないでしょうか。

町長 避難者のプライバシーを守るため出来る限り机などで仕切りを作りながら個人のスペースを確保する努力をしています。豪雨の時や大雨時にも避難指示を出しましたが一日単位で終わるのがほとんどです。しかし住民の方にはご迷惑をかけております。本町としても出来る限りプライバシー確保に向け考えていきたい。

他にペット同行避難所開設について、支援が必要な高齢者避難の避難体制について質問しました。



まさき きくみ
政時 喜久美 議員

問 町政2期目の観光計画は

答 観光資源を活用し推進していく

議員 観光に関する計画について、総合計画による原町政2期目の見通しをたずねます。

町長 総合計画、マスタープランで観光業の推進をメインに上げていますが、リンゴ園の整備、安真木地区に点在の魚楽園などの観光資源を活用しながら観光に力を入れます。

議員 指名競争入札において特定の業者に集中していませんか。業者の経営実態を把握するためどのような取組みを行っていますか。

防災管財課長 指名は発注する工事の価格、業種、指名回数、必要な資格を審査し選定します。指名は2つの業種に登録可能であり、管工事の多い年や解体工事の多い年等各年度により発注する業種に差が生じます。経営の実態把握には県が発行する経営規模評価結果通知書（経審）の提出を義務づけています。

議員 小学校のトイレ改修工事の入札に川崎くみあいガスが入っていますが、ガス会社が入札できますか。

防災管財課長 管工事業者として登録をされていますので、できます。

議員 トイレ工事の入札価格が最低制限価格で全部同額になっていますが最低制限価格はどのようにして決めていますか。

防災管財課長 入札は事前に価格を公表していますので複数の業者が最低価格で入札した場合抽選により落札者を決定します。

最低制限価格は条例では75%以上92%未満となっていますが国の基準に合わせて一番高い92%に設定しています。

議員 公募型プロポーザルの運用で、庁舎及びコミュニティセンターの空調設備等の概算見積では4億円だったのが7億8,000万円の工事費になっています。

グループを代表したハッセイ社の価格と明細内訳の説明をして下さい。

町長 例えば4億円かかったら全体的に町の単費ですが、今回の事業は地球環境に優しい脱炭素社会構築の補助金（二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金（補助率1/2））を活用したエアコンだけでなく照明 LED、災害用の蓄電池、ソーラーも設置する事業です。同事業を行っている他自治体の業者選定も専門知識が必要とのことでプロポーザル方式となっており、本町もこの方式としました。

議員 会計年度職員等の雇用について、フルタイムとパートタイムの給与や業務内容の違いをお伺いします。

総務課長 会計年度任用職員の業務内容は職種によって異なり、

一般行政職、保育士、小中学校の講師等様々です。フルタイムとパートタイム勤務の違いは職種、配属先の業務内容などに応じて異なり勤務時間により給料も違います。

議員 同和保育所のバス運転手の雇用形態はどうなっていますか。

また同和保育所のほかに業務委託はありますか。

福祉課長 業務委託で契約しています。同和保育所以外には幼稚園バス等の運転手です。

議員 保育所バスの業務委託は年間216万円、月額18万円で、他のバス運転手に聞いたら14万円程でせめて保険があればと言っていました。業務委託の内容により給料も差がありますか。

総務課長 業務時間も違いますので委託料も変わります。

議員 草刈り作業の雇用はどうですか。

総務課長 事業課、B&G 海洋センターの業務委託で行っています。

議員 同和保育所は昭和48年に「しおんえん」から始まり「あいうえお学校」、そして、部落解放運動により開所しましたが、名称変更については、関係者と協議しましたか。

町長 9月8日の本会議で条例改正を全会一致で議決を頂きましたが連協（部落解放同盟）とも協議をして納得して頂いています。

問 特定妊婦への対策は

答 共同でサポートする体制をつくっている



ちば かよこ
千葉 加代子 議員

議員 予期せぬ妊娠や貧困、若年妊娠などで、出産前から支援が必要とされる妊婦を特定妊婦といい10年前の10倍に増えています。本町の対象者と対応はどうなっていますか。

健康づくり課長 対象者は7人います。特定妊婦については、健康づくり課の保健師等が電話連絡や家庭訪問をして接触するようにしています。また産婦人科等の医療機関と情報を連携して、共同でサポートできる体制をつくっています。

問 ヤングケアラー救済のための施策は

答 情報共有を行い、見守り等の継続支援を行っている

議員 中学生の17人に1人、高校生24人に1人、本来大人が担う家事や家族の世話をを行うヤングケアラーがいると言われています。国は早期把握や相談支援の強化など支援策をまとめているますが本町の実態と対策を尋ねます。

教育長 実態の把握は行っています。学校として、生徒の学校生活の状況を注視し子育て支援センター、児童相談所等々関係機関と連携を図りながら、情

報共有を行い、見守り等の継続支援を行っています。児童相談所とは何かあったらすぐに連絡が取れる体制を今整えております。



問 町独自の教育施策についての考えは

答 今後も地域の理解を得ながら、拡充を図り続けたい

議員 「学びっこ」は、4校実施されていますが、「放課後子ども教室」は、ボランティア不足で、3校での実施になっています。ボランティアを増やすためのアドバイスがありますか。

教育長 各種団体の総会の時に、パンフレットをつくってお願いをしています。機会をとらえて地域の方に協力を呼び掛けて、人材発掘に努めてまいります。

問 B&Gのプールの見通しは

答 費用対効果、町民のニーズを踏まえて検討

議員 以前はB & Gの水泳教室で楽しみながら習ったが、使用できなくなり、田川市民プー

ルや糸田町まで出かけている。特に市民プールは炎天下で、待つのも大変なので、なんとかならないかという要望がありましたが、今後の見通しは。

教育長 老朽化によりプール層の底が隆起し多数の亀裂が入り、一部の修繕工事を行っても抜本的な改善になりません。今後は、費用対効果を考慮し、町民のニーズを踏まえて十分検討してまいります。

議員 屋外トイレの増設と、屋内トイレの改善をお願いしたいが。

教育長 屋外トイレは、中学校の運動会に使用する場合等、少し不足する状況です。屋内のトイレは昭和63年当初から1度も改善されていません。今後施設の利用状況と財政状況を鑑みながら検討してまいります。

議員 夏場は暑くて、スマート教室も場所を変更している状況ですが、空調設備は設置できませんか。

教育長 多額の費用がかかりますので、十分状況を注視しながら今後の検討課題になろうかと考えています。

他に不登校について質問しました。



問 観光資源を活用したまちづくりを

答 総合計画、観光計画をもとに観光立町へ

議員 建設産業常任委員会所管事務調査で、観光振興に関する調査報告の中、道の駅、キャンプ場を集客の拠点として、De・愛、リンゴ園などと連携していきたいとのことですが、町長の認識をお尋ねします。

町長 本町は観光に力を入れており、議会と町民と一緒に観光資源を整備し、道の駅の入れ込み客をDe・愛、リンゴ園へ連れて行くことで魅力ある観光立町をつくります。

議員 本町には、国指定1件、県指定3件、町指定8件、計12件の文化財がありますが、この文化財を活用する取組みの方策はありますか。

町長 町の方針の総合計画、観光計画等を策定して資源を整備することで観光づくりにつながると思っています。

議員 先月8月6日に藤江氏魚楽園の所有者の同意を得て、その周辺や大型駐車場を有志のボランティア約50名と一緒に清掃作業を行いました。雑草が背の丈まで伸びて樹木の剪定ができていないため荒れ放題になっていました。

今後も定期的に清掃活動ができたらと考えていますが、町民の取

組みに対して、町長の考えをお尋ねします。

町長 大変素晴らしいことだと思っています。

議員 国指定名勝庭園は、全国1,718市町村のうち209件あり、九州に20件、県内に7件ある中の1つが、本町にある国指定名勝庭園、藤江氏魚楽園です。この藤江氏魚楽園は今休園となっていますが早期の開園を願う声が届いていますが、町としての考えをお尋ねします。

町長 町にとって大切な観光資源ですが今は係争中で、休園となっています。開園できるようになったら、町は積極的に大切な観光資源として支援していきます。

議員 令和2年3月から全世界を席巻したコロナ禍は、人的交流を遮断し外出制限をする厳しい内容でしたが、今や各国のインバウンドが日本に訪れるようになりました。

2023年観光庁の旅行観光消費動向調査でも国内旅行者は4億1,785万人で、その内日帰り旅行者が1億8,539万人となっております。このような中本町は観光行政に関して具体的な取組みを今後整備する道の駅、キャンプ場と今ある文化財に活用した方策は何かありますか。

町長 観光行政について、観光資源に受皿になるのが道の駅ではないかなと思っています。開園により道の駅にきた方々を文化財がある安真木方面からDe・愛へ誘導していくことが大事で6年度からの第5次観光計画も住民と一緒に策定し観光に力を入れていきます。



▲紅葉の時期の魚楽園

問 町内経済対策に GDP目標値の導入を

答 町のGDP算定導入は今後の課題

*GDPとは…経済活動で生み出される金額



さくら い ひで お
櫻井 英夫 議員

議員 福岡県は一般会計で約2・3兆円を予算計上し、そこで県内GDP目標値20兆円を掲げ、目標達成のため9つの主要施策を発表しています。本町も国、県にならない町内GDP目標金額を設定し、経済対策を更に明確にしてはどうですか。

町長 現段階では、町レベルでのGDPの把握や計算上での未知な点が多く、したがって既存の統計数値を基礎に地域振興を計っています。町内GDPの設定は今後の課題としたい。

議員 中小企業振興基本条例が施行され6年が経過していますが、検証、見直しはされていますか。

町長 条例を受けて2019(令和1)年川崎町中小企業振興5ヶ年計画が整備されており、現在、次期計画を策定中です。その過程で施策の検証、見直しを行いたいと考えています。

議員 観光振興を名目に魚楽園周辺にトイレ、道路、駐車場など数億円の投資を行ってきましたが、投資効果は発揮されていますか。

町長 魚楽園は現在閉園中であり、観光客も再開を待っています。観光資源として再び活用

できるよう、今後も協力していきたいと考えています。

問 環境美化向上のため 町内の体制作りを

答 校区単位で 美化運動を広げたい

議員 町内美化を推進するため、きめ細やかな体制づくりが必要ではありませんか。

町長 町主催の清掃活動が年2回、町民ボランティアによる美化活動が様々な実施されていますが、更に校区単位での活動を促すため、啓蒙啓発を積極的に行います。



▲9.28 パン博前の清掃ボランティア

問 生ゴミには特別対策を

答 ゴミ減量への啓蒙啓発を 強化する

議員 ゴミ減量化の肝は生ゴミ対策と思うが、現状はどう

なっていますか。また、食品トレー回収に企業の協力は得られていますか。

町長 生ゴミだけ分けての収集はしていません。家庭処理を促進するため、電動生ゴミ処理機、堆肥化容器購入補助を行っており、今後この制度の周知徹底を強化していきます。食品トレーの回収は町内2店舗のみであり、今後も循環型社会をめざして回収システムを構築したい。

問 不登校対策は幼児期から

答 その視点は的を射ている

議員 不登校が社会問題になっており、この拡大は生徒も学校も不幸な事です。どこに原因があるのか、小学校入学後では対応手遅れではないか、幼児期からの基本的な生活習慣プログラムづくりが必要ではないですか。

教育長 不登校原因のひとつに生活習慣の乱れがあると考えます。来年四月から町長部局所管の保幼一体型の認定子ども園が新しくスタートします。就学前の子どもたちが不登校にならぬよう、その基礎づくりに支援していきたいと考えています。



問 見守り支援に、電話訪問事業を

答 制度の状況を考えながら検討

議員 見守りネットワークによる訪問事業はありますが、電話訪問事業の取り組みについてはどのように考えますか。

高齢者福祉課長 現在のところ高齢者の見守り支援については既存の事業での対応を考えていて、電話訪問事業の実施は、今のところ検討していない状況です。

議員 電話訪問相談事業は、一人暮らしや高齢世帯にとって、もう一つの見守りとなり孤独感の解消策となって行くものと思います。この事業の取り組みをされる考えはありますか。

高齢者福祉課長 制度の状況も考えながら今後検討していきたいと思っています。

問 認知症施策の充実を

答 重要な検討事項

議員 認知症は今後ますます増えていくことが予想されています。本町の認知症患者の現状を伺います。

高齢者福祉課長 認知症により何らかの困難さが認められるもの。これは日常生活自立度2以上という基準がありますが、該当する方が町内に591名いると把握しています。

議員 各地の取り組みの中で、熊本県大津町の見守り事業、どこシル伝言板。「安心安全に外出できる大津町を目指して」をスローガンに認知症の方へQRコードの入ったシールをお渡ししています。このことについてどう思われますか。

高齢者福祉課長 どういった事業かを調べた上で、もしできることであれば検討していきたいと思います。

議員 現在広まりつつある、認知症損害賠償保険、年間2万円ほどになりますが、本町ではこの認知症損害賠償保険を導入する考えはありませんか。

町長 確かに認知症の方に対して、問題点が多くあるということは認識しております。個人の損害保険を公費を使ってやるのはどうなのか、またするにしても、どこまでの負担を町がするのか、重要な検討事項になってくるのではないかと考えております。



問 緊急通報装置、申請条件の見直しは

答 近隣以上のサービスができるように考えていく

議員 見守り支援が届いていない一人暮らしの方や高齢者のみの世帯など、見守りを必要としている人に緊急通報装置の配備が必要です。申請条件の見直しはどうなっているでしょうか。

町長 その後近隣の市町村を調べており、川崎町の条件がきびしいのかなという状況です。今後は川崎町の条件を見直して、近隣に近い、また近隣以上のサービスができるように考えていきたい。

他に町営住宅の現状について、母子手帳について質問しました。



▲川崎町には、リトルベビー手帳(小さなあかちゃん親子手帳)がありますよ！

問 総合検診などでの ウェブ予約の導入を

答 アンケート調査の結果をみて 実施していきたい



やました みほ
山下 美穂 議員

議員 町長の所信表明において、SNSを活用して情報発信をしていく。また、施政方針の中で川崎町のDX推進計画を策定し、デジタル技術を活用し、新しい住民サービスの実現に向け準備をしているとありました。

SNSやデジタル技術に関連してのことですが、コロナワクチン接種の接種予約については、LINEと電話の2つの方法がありましたが、総合検診などの受付業務については電話のみの予約です。

町民の方から「電話がつながりにくい」、「仕事をしているので日中は電話しにくい」という意見もあります。

検診予約に関してデジタル技術を活用すれば申請者が増え、受診率の向上も期待できると思いますが、今後の総合検診などのウェブ予約導入の予定について伺います。

町長 確かにいろんなメディアを使って、予約していくということが大切になってくると思いま

す。ウェブを使っでの申し込みも1つの手段として考えられると思います。

現在、7月から11月の受診者について、予約方法などのアンケート調査を行っています。その結果をみて実施していきたいと考えます。



議会日誌

7月	
10日	議会運営委員会
18日	全員協議会
常任委員会	
4日・26日	建設産業常任委員会
5日・25日	総務常任委員会
14日・21日	広報広聴常任委員会

8月	
9日・29日	議会運営委員会
常任委員会	
8日・22日	民生文教常任委員会
24日	建設産業常任委員会
30日	総務常任委員会

9月	
第4回川崎町議会(9月定例会議)	
5日	本会議・全員協議会
6日	委員会(総務・民生・建産)
7日	議会運営委員会
8日	本会議・広報広聴常任委員会
12日	予算決算常任委員会
13日	予算決算常任委員会
15日	本会議(一般質問)
19日	本会議(最終日)

議会の傍聴

おいでください

次回定例会予定

- ◎12月 5日…本会議(初日)
- ◎12月 8日…本会議(中日)
- ◎12月13日…本会議(一般質問)
- ◎12月14日…本会議(最終日)

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



総務常任委員会

魅力あるホームページ、 わかりやすい情報発信を

川崎町のホームページは、町政に関する情報を的確・迅速に提供し、町民の町政参加の機会の拡充とわかりやすく身近な町政の実現を目的として開設され、「開かれた町政へ向けた情報の発信の手段」「即時性のある情報発信」「誰もが利用でき、わかりやすいホームページ」を基本方針としているようです。

ホームページの更新は各課で随時行っており、常に最新の情報が届けられているようです。現在のホームページでも情報を伝えるツールとしては有効ですが、町民はもちろん、町外の方にも、他の市町村にはない魅力的なホームページを目指していくようです。

ホームページ以外の情報発信では、大きな媒体はスマートフォンであると考え、多くの方が利用しているLINEを中心とした情報発信を行い、真に求められている住民サービスを提供し、住民の皆様に喜んでいただけるものを今後も検討していくようです。

ホームページ、LINEともに情報発信の手段としては重要なものなので、使い勝手を良くすること、発信の頻度をあげていただくことを要望しました。

※川崎町公式LINEアカウントの登録者は約4,900人です。

本格的な雨季や台風シーズンを 迎える前に

災害の発生に備え、災害等が予想される危険箇所の見回り、土のうやブルーシート等必要な備品の管理・保管、各消防団への災害情報等の周知・報告を行い、毎月「広報かわさき」へ「ぼうさいかわさき」として防災に関する情報

が掲載されています。

災害時の備蓄品は、「平成24年福岡県防災アセスメント」の結果に基づき本町の最大被害、西山断層地震、震度6以上発生を想定し食料供給対象人口が7,195人とされ、家庭内備蓄、地域内備蓄、企業内備蓄、流通在庫備蓄等を考慮し、食料供給対象人口の10%である720人に対し3日間供給が可能な6,480食分を備蓄数の目標としています。

災害に対する職員の配備については第1配備、初期警戒から第3配備、災害対策本部まであり、気象警報、災害の状況に応じ対応しています。

高齢者は避難するとき、毛布や敷物を持っていくことが困難のため避難所での備蓄の必要性も検討していただくことや、小学校の体育館を避難所として開設したときは、コミュニティセンターや安宅交流センターと比べ設備等が落ちますので、地元の行政区と連携し、公民館を避難所として開設する等、地域ごとの防災に取り組んでいただきたいと要望したところです。

現在に適したものに条例等の見直しを

例規集には、条例197、規則・規程等352、合計549の川崎町政の執行に必要な事項が掲載されています。内容の改正等による差し替えは半年に1回程度で行い、令和5年5月26日現在が最新となっています。

この調査は、条例等の内容について検討するものではなく、10年以上前に制定され、一度の改正もなく適用がないものや過去に制定され、現在には即してないもの等調査するものですが、この日の調査では、調査の進め方や調査内容を執行部に示し、引き続き総務常任委員会として調査を行いたいと思います。



民生文教常任委員会

介護保険・介護事業を調査

介護保険料は高額なほうからAグループBグループCグループと3段階ありますが、川崎町は1番高額なAグループに位置しています。

理由

- 高齢者ひとり当たりの給付額が広域連合に加入している33市町村の中で3番目に高額である。
- 高齢者の介護認定率がかなり多く25%以上である。

対策

- 公民館で行っている健康体操などを広げていき介護予防に取り組み、新規の介護認定者の抑制を図る。

愛光園の現状や課題を調査

愛光園には自立した生活ができる方の入所が前提となっていますが、現在入所中の21名のうち19名が要支援、要介護の認定を受けている方でした。施設の入所者の前提要件と現状が合致していない状態です。

施設への入所の可否を決めるときに介護度等での線引きがないことが一因であると考えられます。

委員会からの意見

- 入所判定委員会に医師を入れ意見を聞くべきではないか。
- 愛光園の在り方について全体的な見直しも含めて執行部、愛光園の職員とで議論し改善してほしい。



建設産業常任委員会

順次草刈りを行っています

町道の草刈りは、危険箇所や、通行量の多い箇所は、業者委託をし、対応が間に合わない場合は、事業課の職員が行っており、特に盆前は、職員が交代で作業しているそうです。

道路管理者として通行の支障のあるような要望には対応出来ています。私有地側から町道に草や枝がはみ出ている場合は、所有者の対応ですが、高齢であるとか費用の面で難しい状況が多くあり、その場合は町のほうで対応しているそうです。

町営住宅敷地内の草刈りは、職員か業者委託です。草刈りの要望は、盆前などの要望が集中する時期は、すぐに対応できないこともあるそうです。

又、いままでは団地内で管理をしていたところでも、入居者の高齢化により役場への依頼が増えているそうです。また、団地建設時に植樹した木が大木になってしまい、その伐採要望が増えているということです。

毎年刈る同じ場所、法面の危ない箇所などは、防草シートというものがあるので、来年度の予算に計上したいそうです。

毎年言われるところは把握しているので、できるだけ言われる前に、優先順位を見極めながら自主的にやっていますが、箇所が多く追いつかない状況であるそうです。

住宅環境課や事業課では、要望のあったところは、時期がずれるにしても、だいたいの場所はできているということでありました。

道の駅に観光協会を

平成27年から令和元年までの観光入込客数の推移は22万人以上、1番多いときで平成27年に27万人でした。また、消費額の推移としては、5億円以上でした。しかし、令和2年から4年にかけては、コロナ禍の影響もあり、観光利用者数については、約19万人、消費額については5億円台はキープされていたそうです。

観光施策については、4つの大きな基本施策、また観光戦略では、8つの項目を重点的に取り組むアクションプランがあるそうです。

町としても、道の駅ができればその中に観光協会を置く予定で、その際には独立採算制がとれる体制、また組織力が発揮できる体制に持っていけるよう検討しているそうです。

また、町にとって大々的に売り出そうとの戦略については、道の駅がその目玉の一つであり、またキャンプ場が集客の一つになり得と考えているそうです。そして、キャンプ場の横には、De・愛、農産物直売所があり、安宅地区にリンゴ園、懐かしの森キャンプ場、このようなところと連携してやっていきたいと考えているそうです。

道の駅の開業を目指し、そこまでの観光PRやその手前の準備などは、出来てからでは遅いと思うので、その対策・対処については、観光振興基本計画を来年度作りなおし、そこで考えていきたいとのことでありました。

今回の
主人公

おいしいお米作ってます！



坂本 公時 さん
(安真木地区)
0.8 ヘクタール

実家が農家です、現在営農組合員としてお米作りに励んでいます。大切なことは、地域ぐるみだと思います。そして作づくり面積を増やしたい。課題は農業で自立出来る様にどうしたらいいのか。個人じゃなく法人化にしてはどうなのか手段はあると思います。現在お米作りは0.8haですが将来の目標を20haをめざしています。やりがいがあって、楽しくお米作りをしています。最後にお米の値段が少し上がれば…



藤川 義春 さん
(安真木地区)
3.3 ヘクタール

仕事を退職してから本格的にお米作りを始めた機械は新しいものをすぐ購入しがちで、ほとんどの機械はあると。そのため高齢者や周りの人たちからの依頼も多くなり、農家の人達のために頑張っています。奥さんも一緒に美味しいお米作りを手伝っています。田んぼは家族です。良い土を作るのが大事です。将来の農家は無人化になり、パソコン操作などで(ドローンも含む)人手のかからないようになると思う。最後に農家同士の助け合いが必要です。



西山 一郎 さん
(太田地区)
18 ヘクタール

お米と麦を作ってます。地域でお米作りが出来たらいいなと…高齢の農家の人から頼まれることが多く今からも農家人口が減らないように手助けをしていきたい。川崎町全体の5%くらいは年間頑張ってます。農地も担い手も減らさないためには放置された農地の作り手の確保が必要かと思います。最後にもう少しお米の値段が上がれば生活も楽に…



中村 伸次 さん
(田原地区)
1.7 ヘクタール

実家が農家なので、後を継ぐのはわかっています。機械作業をしている時が一番楽しいです。整備関係の仕事をしていたので、機械の修理は自分でしています。田んぼの管理をしっかりとしていれば美味しいお米が出来ます。物価の高騰で肥料費などが高いのが悩みです。最後にもう少しお米の値段が上がれば…

編集 後記



この間までの残暑が嘘かのように、一気に秋深くなってまいりました。朝晩の冷え込みと日中の暖かな陽気に、体調を崩さないよう、みなさまもお気をつけください。

秋といえばスポーツと食欲の秋。果物も美味しく、新米も美味しく、つつい食べ過ぎてしまいますが、運動の秋も忘れず適度な運動で健康な体作りを心がけましょう。

「発行責任者」					「広報広聴常任委員会」				
議長	委員	委員	委員	委員	委員長	委員	委員	委員	委員
大谷 春	中 山 信	樋 口 真	見 月 秀	寺 田 康	櫻 井 英	井 田 英	井 田 英	井 田 英	井 田 英
清	和	美	隆	一	夫	夫	夫	夫	夫